

久美浜町学校再配置検討分科会最終報告

1. はじめに

京丹後市久美浜町の地域には、現在、小学校が7校、中学校が2校あります。本分科会では、児童生徒数の今後の動向や、小学校・中学校の教育内容や教育活動をめぐる諸課題、さらには立地上の環境等諸条件や耐震基準等からみた施設設備等の諸問題を踏まえ、全町域的な視野に立ち、様々な教育的観点から、今後の本町域における小学校及び中学校の再配置に関する事項について検討を行った。

2. 分科会開催経過（委員数 27人）

出席者数

第1回分科会	平成19年	7月12日（木）	23人
第2回分科会	平成19年	8月1日（水）	17人
第3回分科会	平成19年	9月26日（水）	21人
第4回分科会	平成20年	1月17日（木）	14人
第5回分科会	平成20年	3月5日（水）	20人
第6回分科会	平成20年	4月2日（水）	15人
第7回分科会	平成20年	4月30日（水）	18人

3. 分科会における議論

久美浜町における学校の現状と今後についての意見交換

(1) 中学校について

- ・今後の生徒数・クラス数やクラブ活動のことを考えると、中学校を1校にした方がよいのではないか。
- ・通学方法について、エリアが広がるので、スクールバスなどの通学手段の確保が必要である。また、クラブの朝練にあわせて、バスの運行をしてほしい。
- ・今の中学校では、たくさんの車を駐車する場所がない。既存の施設を使って統合するのなら、行事のときにたくさんの車を駐車できる場所を確保する必要がある。

(2) 小学校について

- ・中学校の再配置には賛成だが、小学校の再配置には反対。各小学校区で地域を含めた取り組みがなされ、地域を含めた小学校としての位置づけがなされている。今

のままがよいと思う。

- ・地域を主体として考えるか、学校を主体として考えるか。校区で地域が独立しているよう。地域も結びついていかなければならないのではないか。統合して地域が広がることで社会教育の部分が手薄になるのなら、公民館活動等の組織の強化も必要ではないか。

- ・平成 25 年には、久美浜で複式学級ができるところが 3 校になる。複式では、授業にも限界があると聞く。統合もやむを得ないのではないか。

- ・どんな環境であろうと、子どもたちは楽しくやっていこう。

- ・今後、子どもの数は減る一方。2~3 校と考えていても、いずれは、また再配置を考えていかなければいけなくなるだろう。将来的なことを考えると、小・中 1 校で検討してはどうか。

- ・小・中各 1 校を久美浜の真ん中あたりに。そうすれば、通学も簡単に済むのではないか。

(3) その他

- ・統合した場合、跡地のことも考える必要がある。

- ・子どもが減る心配ばかりしているが、都会に出た子どもたちが帰ってきて、人口が増えていく、そんな町づくりをするべきではないか。子どもたちは、帰って来たいと思っている。そんな若者たちが帰ってこられる環境をつくることも忘れないで再配置のことも考えてはどうか。

- ・スクールバスを充実させることも大切だが、バスが安全だとは限らない。また、自転車通学や徒歩通学をする児童生徒の安全確保のためにも、道路整備が必要である

4. 検討結果（論議の到達点）

(1) 中学校について

○今後の生徒数の推移や、子どもたちのことを考えると、課題はあるが、中学校を 1 校とした方がよいのではないかと、その意見が大半であった。

- ・中心地に新設

- ・通学について、スクールバス等、交通手段を充実させること。

(2) 小学校について

○再配置について、賛否両論あるが、児童数を考えていくと、統合でやむを得ないのではないか、との意見が大半であった。

・小学校・中学校を1校とし、小中一貫教育をかかげ、久美浜を先進地域としてはどうか。

・これからの人数を考えていくと、統合はやむを得ないのではないか。

・今後の人数等を考えると、2校でよいのではないか。

・地域のことを考えると、統合するべきではない。

・通学について、スクールバス等、交通手段を充実させること。

5. 検討委員会への提言・要望等

検討委員会の答申に分科会での意見が反映されるような再配置案を検討していただきたい

京丹後市久美浜町学校再配置検討分科会